

ふるさと  
筆都が育てる

ふるさと  
筆都を育てる

## 熊野高等学校

### クラスマッチ

完全燃焼!

7月18日、熊野高校体育館においてクラス対抗バレーボール大会が行なわれました。生徒たちはプレー開始の笛で勢いよくコートに飛び出しました。クラスで作戦をたて正確にプレーするクラス、強力な応援団に激励され取り組むクラス、おそろいのTシャツを着こなし頑張るクラス、クラスのカラーが出てとても良い印象を受けました。



時間がたつにつれて体育館は熱気に包まれ、試合も準決勝、決勝と進んでいきました。生徒たちは、疲れた表情ではありましたがとても良い汗をかいた一日でした。



### 鈴木大地が語る



7月3日(水)本校体育館において「高校生のための朝日文化セミナー」が行なわれ、ソウルオリンピック金メダリスト鈴木大地さんが講演に来られました。鈴木大地さんは学生の頃からの話、継続する練習の厳しさ、金メダルを獲得前後の思いをわかりやすくご講演され、故障したときにつらさや健康のありがたさを話されました。90分という短い時間でしたが、とても有意義なご講演を聞かせていただき、生徒・学校関係者共々感謝しております。



## くまの俳壇

熊野俳句同好会

### 【熊野婦人俳句会】

ころろざしいまだ麦秋千里かな  
はやばやと西瓜畠に網かけぬ  
朝の日に亀の抜け殻散らばれる  
暑き日のおしぼり冷し友を待つ  
リハビリの車待つ間の落し文  
献体をさりげなく言ひ玉の汗  
風入れて安居会法話聴きをりぬ  
万緑の朝の大き気を吸ひにけり  
溪流に鮎追ひし頃幼き日  
就職の内定来る夏つばめ  
梅熟るや日課となりしジャム作り

### 【西公民館俳句グループ】

万緑に嵩増す山や風わたる  
山の水引ける寺院の花菖蒲  
谷川のせ、らぎを堰く竹落葉  
杉木立すけて見えたる梅雨の雲  
天井の高き牛舎に夏燕  
枇杷熟るる人のかげなき庭先に  
白檀の扇に残る香りかな  
点滴の腕動かせぬ日永かな  
店頭に熟れたる枇杷をてんこもり  
今日の朝厨できざむ初胡瓜  
毛虫這う屋敷の壁に道標  
猫の目の前をつばめの宙返り  
梅雨の月みかん色なり喪にこもる

ワールドカップで沸いている世界、見ていると国威を賭けているかのような応援であるから、勝ったときの感動と感激があった。若者のサポーター振りは今迄にない様子。

このエネルギーが国政に向ってくれないかとも思った。敗者にも暖かいまなざしで帰国を見送った。この暖かさが生活に欲しいとも思った。感動した、その感動を社会に還元出来ればとも思った。

勝ち負けは時の運というが選手はよくやった。韓国では大統領が兵役免除という褒美を与えた。国の心構えの相違か。ともかく感動は大切にしよう。俳句にも通じるのである。

木村 里風子

工藤 義夫  
久保田 フクヨ  
阪本 清子  
堀野 眞理子  
立花 よしえ  
亀谷 しず恵  
大田 文子  
上野 啓子  
遠山 愛子  
山崎 貞子  
隠士 信子

西村 柳子  
別府 藤絵  
渡辺 喜美子  
高橋 喜美子  
長山 法江  
尺田 せつ  
荒谷 逸子  
関村 光子  
南村 マサ子  
進藤 幸美  
沖本 澄江  
喜花 美鈴  
木村 里風子